

地域おこし協力隊 全期伴走型研修プログラム

地域おこし協力隊が地域で充実した活動を行うことで得られる効果と、その継続性を生むための長期支援体制

移住者を増やすことではなく、笑顔を増やすことが目的のプログラムです

このプログラムは、地域おこし協力隊が地域で充実した活動を行うことで得られる効果と、その継続性を生むため、地域に合わせたゴール設定を・隊員・地域・行政の3方が事前に共有し、それに向かって共に成長する中で、仲間を内外に増やしながらか地域で一緒に歩み続けることのできる一貫した継続的支援体制です。

地域おこし協力隊ご担当者さまへ



笑顔の輪を広げませんか？

私たちは、地域おこし協力隊をきっかけに、共感・共有の場が広がることで初めて、移住者と地域に笑顔が生まれ、そこから移住・交流・関係人口の増加につながっていくのだと考えます。

確かなきっかけを作るために



まずは悩みを共有したい

☑ 人材確保が難しい
☑ 活動が見えてこない
☑ 地域からの不安の声
☑ フォロー体制がないなど、ご担当者さまの悩みに向き合い、共に解決へと歩みます。

共有・共感を他方へと



みんなで一歩を踏み出す

プログラムでは、隊員も自治体も単体ではなく、外部の同じ立場、違う立場の方と関わりながら進めることができるので、地域に還元できる力を持った新しいコミュニティを増やすこともできます。

プログラムを通して得られること

↳ 地域にマッチした学びを得た人材を確保することで、協働による課題解決の実践・共有サイクルが回せるようになるとともに、外部とのつながりと学びにより、地域の発信力を強化していくことができます。このような地域での充実した活動が隊員や地域住民の郷土愛を生むことで、その後の起業・定住による継続した効果までを期待できるようになります。

3つの
コース

■ プログラム概要

3つのコースを設定することで、時期ごとの課題に対する適切なフォローが行えます。また、必要とされるメンターによる並走で、定住期まで継続して支援を行うことができます

4つの
つながり

■ 関係者の役割

首都圏企業人との接点を加えることで、課題解決・起業へのスキルアップを得るだけでなく、合意形成の輪の中で新しいコミュニティが醸成され、地域にさまざまな効果をもたらすことができます。

🔥どのタイミングからでも受講OK!

地域おこし協力隊 全期伴走型研修プログラム

移住準備期（0年目）

- ・地域に馴染めるか不安
- ・役に立つ活動ができるか不安
- ・どの地域に行くべきかわからない
- ・その後の将来が不安

①. 隊員養成コース

学びによる成長と現地体験を通し、双方に無駄なく、たしかな関係性が築けたうえで移住（マッチング）を行うことができる

【受入強化と人材確保】

活動期（1～2年目）

- ・地域に馴染めない
- ・何をやればから良いかわからない
- ・解決手法がわからない
- ・協力者が得られない

②. 隊員育成コース

活動実施プランを作成し、他地域隊員との横のつながりを持ちながら、地域内での実施と合意形成が図れることで、活動の幅を広げることができる

【実施サイクルの運用】

起業定住準備期（3年目）

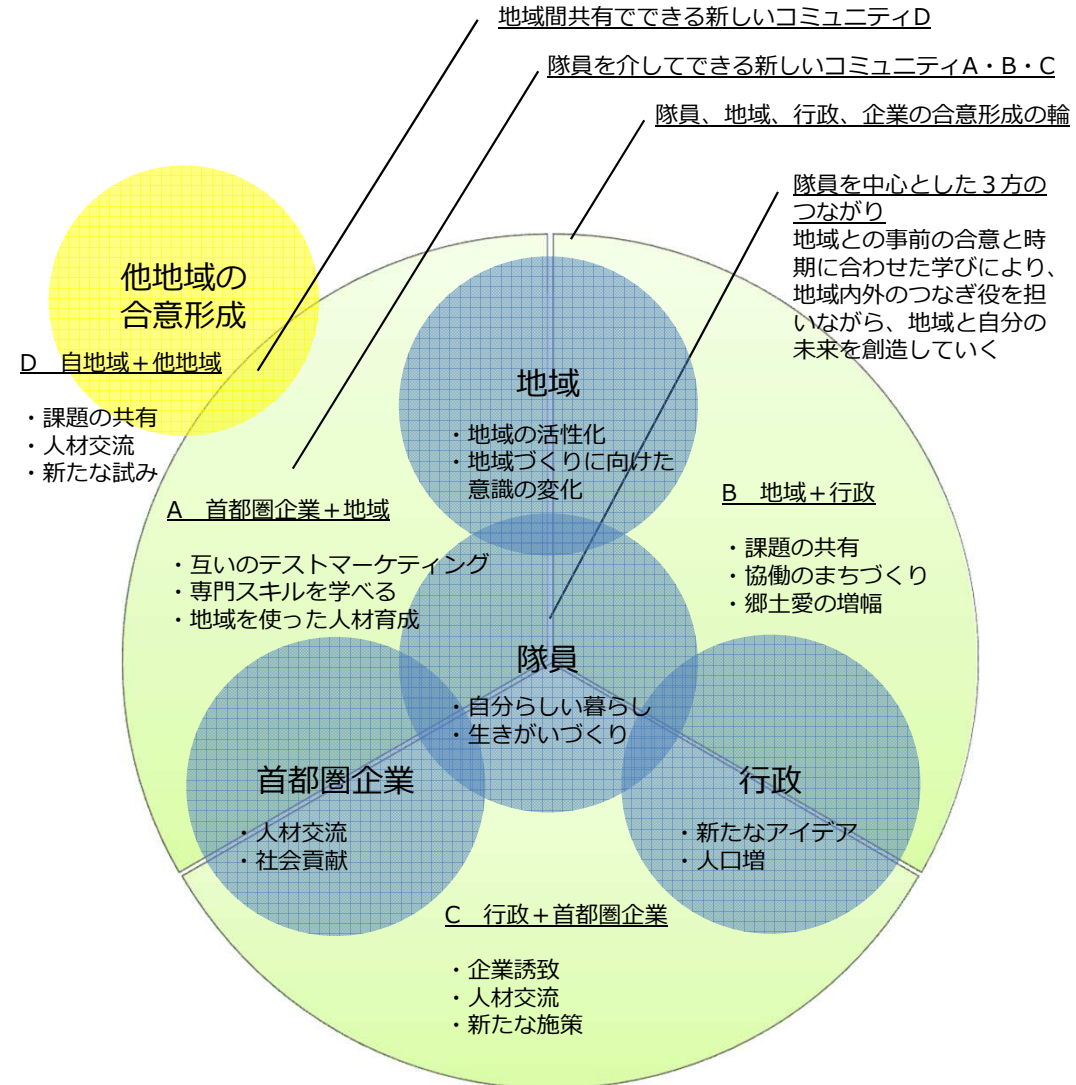
- ・起業の方法がわからない
- ・活動の幅が広がらない
- ・退任後の道が決められない

③. 地域イノベーターコース

企業とのつながりでノウハウを地域に落とし、実践を続けながら地域と自分の未来を創造することができる

【リレーションシップの構築】

着任前から退任後までのプロセスに合わせた継続的支援
時期ごとに必要な関係者との継続的なリレーションシップづくりを支援



①. 地域おこし協力隊
養成コース

Target

地域おこし協力隊予備軍

地域貢献の気持ちがあり、地域おこし協力隊になりたいが、まだ具体的に行動できていない

想定される不安

- ・ 地域に馴染めるか不安
- ・ 役に立つ活動ができるか不安
- ・ どの地域に行くべきかわからない

Stakeholder

協力隊募集自治体

地域の課題解決、地域活性化のため、移住・定住人口の増加を目的とした施策を行っている

想定される問題

- ・ 良い人材と巡り会えない
- ・ 人材や活動を支える体制がない
- ・ 退職後の生活を保障できない

Goal

最適なマッチングで地域へ

学びによる成長と現地体験を通し、双方に無駄なく、たしかな関係性が築けたうえで移住を行うことができる

②. 地域おこし協力隊
育成コース

Target

地域おこし協力隊1～2年目

地域に溶け込むことから始め、課題解決へと歩みを始める

想定される問題

- ・ 何から始めるべきかわからない
- ・ 解決手法がわからない
- ・ 協力者が得られない

Stakeholder

受入れ行政及び地域組織

隊員とともに、地域課題の解決へと歩みを始める

想定される問題

- ・ 隊員の活動が見えない
- ・ 必要な研修がわからない
- ・ 何を協力してよいかわからない

Goal

実行プランを作成し、地域で実践

外部のフォローを受けながら、地域内で課題解決を繰り返すことができ、合意形成と活動の幅を広げていくことができる

③. 地域イノベーターコース

Target

地域おこし協力隊3年目

退職時期が近づき、その後の道筋づくりに着手し始める

想定される問題

- ・ 起業したいが方法がわからない
- ・ 活動の幅が広がらない
- ・ 退職後どうするべきか決められない

Stakeholder

首都圏民間企業

ノウハウを活かし、地域貢献への関わりを模索し始める

企業の持つ欲求

- ・ 顧客満足度の向上
- ・ 事業の拡大や人材育成
- ・ ノウハウを活かした地域貢献

Goal

首都圏ニーズとスキルを取得

学んだノウハウを地域に落とすとともに、外部への地域発信を強化しながら、地域と自分の未来を創造することができる

サービス名

5 自治体限定の合同実施
【地域おこし協力隊養成コース】 ※隊員候補者向け

■実施の効果

- 現地研修による人材交流と地域発信
 - マッチングによる協力隊の人材確保
 - 社団法人HP掲載による地域PR
 - 受講者全員分の移住カルテを提供
- ※移住促進または定住に関するKPI達成に寄与

★ このサービスで得られること

地域に入る心構えと、活動に必要なスキルを事前に学んだ「地域おこし協力隊候補生」との個別マッチングが行え、地域に適した活躍できる人材を確保することができます。

※ 3～5自治体による合同実施により、比較検討したいという隊員候補生のニーズに応えることで、マッチングの質を高めるとともに、そこで生まれる自治体同士の競争と連携が、その後の募集プロモーションの向上にもつながります

第1期受講生30名を予定※20名より開講

■サービス内容

I. 座学（養成講座）

【概要】

協力隊OBから移住者としての行動や活動、定住について学びながら、募集ミッションに合わせた活動に必要なスキルを習得することで、**地域に溶け込み、互いの力を伸ばせる人材**を育てます。



II. ワーク（養成講座）

【概要】

グループワークで募集ミッションの解決に向けた具体的な道筋作りを行うと同時に、地域での合意形成の図り方を学ぶことで**地域のまとめ役となる人材**を育てます。



III. 現地実践（マッチング）

【概要】

参加自治体の中から希望地域を選択し、現地実践ツアーを開催。地域人材との交流を通し、地域の受け入れ態勢の確立、首都圏ニーズの把握を図りながら**候補者への地域PR**も行います。



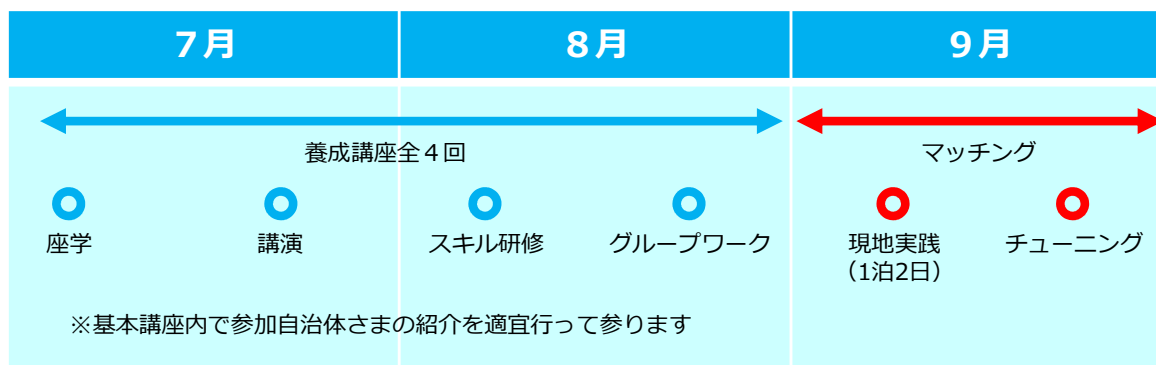
IV. 面談（マッチング）

【概要】

自治体個別ブースを設置し（都内）、学びを得た人材の持つニーズと、行政や地域の持つニーズのチューニングを行うことで、**適切なマッチング**を実現します。



■実施スケジュール



第1期 自治体申込締切【5月20日迄】
※事前に受入自治体の審査があります

マッチング登録料金(税別)
／自治体

500,000円

サービス名

首都圏での合同研修
【地域おこし協力隊育成コース】※現隊員向け

■実施の効果

- 課題解決の実施と活動の地域内共有
- 地域外との新しいつながりが活動の幅を広げる
- 活動の充実が定住率の向上につながる
- 社団法人HP掲載による地域PR

★このサービスでどんな問題が解決できるの？

「具体的に何をしてよいかわからない」、または「解決手法がわからない」といった隊員の悩みを解決し、地域内での実施の共有や報告により「隊員の活動が見えない」という地域側の悩みも解決しながら地域内協働を広げていくことができます。

また、他地域で類似ミッションに挑むまだ見ぬ仲間との出会いが競争、協働意識を高め、一層充実した活動を地域で行うことができます

受講生20名程度※2～5自治体の現隊員を受入

■サービス内容

I. 講演

【概要】

参加者の事前アンケートに沿い、課題に付随する専門家の講演で**地域で活かせる新しい手法、アイデア**が学べます。



II. 課題抽出と方向づけ

【概要】

事前アンケートをもとに個別ヒアリングで**解決すべき課題を見える化**します。グループで意見を出し合い**新しい仲間とともに**解決への方向性を導き出します。



III. アクションプラン作成

【概要】

地域と自分にあった実行可能な解決プランと必要なスキルアッププランを作成。また、報告の重要性も学ぶことで、地域での**合意形成を意識**した実施が行えます。



IV. 共有とフォロー

【概要】

他地域グループが連携して地域実践の進捗状況を共有し、互いにフォローを行う。一つの実践をもとに、**解決サイクルを回せる隊員へと成長**します。



■実施概要

日程 : 1泊2日
実施場所: 東京都内

※9月よりサービス開始
1回20名を上限に毎月受け入れ予定

■タイムスケジュール

- 1日目
 - 13:00 挨拶、全体説明、講演
 - 14:30 個別課題抽出
 - 16:30 グループ分け、方向づけ 終了後懇親会
- 2日目
 - 9:00 振り返り、アクションプラン作成
 - 10:30 スキルアップアクションプラン作成
 - 13:00 グループ共有、フォローについての説明
 - 14:30 解散

受講費(税別)
/市町村負担

30,000円

※参加隊員にかかる交通宿泊費についても市町村負担となります

サービス名

首都圏での完全マンツーマン体制
【地域イノベーターコース】※現隊員向け

■実施の効果

- 専門スキルを地域に落とすことによる地域力の向上
- 首都圏への情報発信、特産品の外商強化
- 地域での起業による持続的な地域貢献
- 社団法人HP掲載による地域PR

★ このサービスで得られること

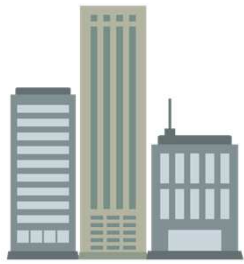
首都圏にある専門スキルを地域へ持ち帰ることができ、首都圏ニーズと地域課題をマッチングさせた新しい取り組みへとつなげていくことができる。また、二地域での活動により構築できるリレーションシップが、地域内起業も含め、定住による効果の質を最大限に引き上げるとともに、継続した貢献ができる礎となる。

■ サービス内容（例）

■ 実施概要

※受入は年間最大5人までの

マンツーマンで弊社スタッフが都内での活動をフォロー



首都圏

日程 : 2泊3日 (年3~4回)
実施場所: 東京都内

※受講生及び受け入れ自治体とのヒアリング内容により、内容、実施場所、回数などをカスタマイズします。



二地域で活動

地域



情報発信や広報を実施

首都圏でスキルアップと情報収集・地域営業を実施

地域おこし協力隊3年目の方を対象に地域イノベーターコースを開講。

地域だけではできないことを首都圏で学び、地域での課題解決の一步二先へと歩みを進めることで、起業・定住、そして退職後も地域と関わりながら他地域でも活躍できる人材を育てます。

起業ノウハウの取得

ひとり一人に合わせた専門スキルを取得

イベントや企業訪問で情報収集

地域営業マンとしてのリレーションづくり

首都圏の民間企業が協力隊員の活動支援を行いながら退職まで伴走していく

首都圏の情報とリレーションを地方へ還元

ITを活用した地域メディアの立ち上げ

地域課題と首都圏ニーズのマッチング

企業と行政をマッチング

任期中に、赴任先での独立起業

3か月に2泊3日(年間3回)の日程で弊社(東京都)を拠点にして研修を実施。

地方の営業マンとして首都圏で情報収集、さまざまな関係企業とのリレーションシップ構築、地方の情報発信を行う。ミッションや起業への参考になる首都圏の専門スキルを持った人材の紹介を行います。

サービス料金内訳

■地域おこし協力隊養成コース 第1期トライアウト価格 ※受付締切5月20日

項目	内容	金額
現地実践準備費	・ロケハン実施費一式 (スタッフ2名1泊2日)	実費
現地実践運営費	・現地実践企画・制作・実施費一式 (スタッフ2名1泊2日)	150,000円
マッチング費	・マッチングブース運営管理一式※ブース毎にスタッフ1名配置	100,000円
募集及びPR費	・募集プロモーション費用一式 ・一社HP内への記事掲載 (撮影費、取材費、作業人件費含む)	80,000円
企画運営費	・講師手配 ・受講者の情報提供 (個人ファイル作成費含む)	170,000円

合計500,000円(税別) / 1自治体

※現地研修ロケハンにかかる費用は別途ご請求させていただきます。
また、現地実践運営費についてはモデルコース概算見積もりとなっておりますので、行程により実費分を追加でご請求させていただく場合があります。

■地域おこし協力隊育成コース 第1期トライアウト価格

項目	内容	金額
首都圏合同研修費	・研修運営実施管理一式	30,000円

計30,000円(税別) / 1人

※参加隊員にかかる交通宿泊費についても市町村負担となります。

■その他のサービス例

① 広告紙面掲載



② イベント企画

ニッポン応援女子部

produced by Lala Pado

企画立案、アンケート調査、読者モデル等ニッポン応援女子部メンバーが自治体様のアンバサダーとして企画のお手伝いをします!



③ 冊子・ガイドブック制作



④ 年間プロモーション事業

移住イベント・セミナー・ツアー、シティプロモーション、特産品PR等、目的に応じてご提案いたしますので、まずはお気軽にお尋ねください!

プログラム担当者より



私はこのプログラムを担当する土谷卓郎と申します。

このプログラムができたきっかけは、私自身の経験にあります。それは高知県四万十町地域おこし協力隊として活動した3年間の喜びと苦悩です。

ものごとを始める前の不安、始めた時の不安、そして将来への不安。これは都会や地方に関わらず社会生活では必ず生まれるごく自然なものです。しかしながら協力隊の持つこれに関しては、不安を解消するための他者との共有がとても難しく、せつかくの共有も地域内では過度に見えてしまうことで、それが新たな不安を生み出すことにもつながるといった、とてもやっかいものだと感じておりました。

そういった不安の解消を持続的に行いながら、地域の一員として充実した活動と暮らしを実現し、定住率を向上させるサービスとして、ご提案させていただきたいと思っております。

詳細につきましては、どうぞお気軽にご連絡ください！



LOCAL & COMMUNITY Lab

一般社団法人 地域間交流支援機構

(2019/05 登記予定)

本プログラムの主催となる、
一般社団法人 地域間交流支援機構 (LOCAL & COMMUNITY Lab) は、
2019年5月登記予定となっております。
そのため、このプログラムのプロモーション及び受付窓口は協力会社として参加する株式会社 ぱど が行わせていただきます。



受付事務局：株式会社ぱど
地域ビジネス創造局



東京都千代田区紀尾井町3-23 文藝春秋ビル新館2F

 080-7015-5416 (担当者直通)

 tt248@pado.co.jp

※株式会社ぱどは、一般社団法人 地域間交流支援機構 の協力会社としてこのプログラムを支援しています